

資料提供	
令和5年6月23日	
担当課 (担当者)	県立博物館 学芸課 (清末 幸久)
電話	0857-26-8044

新着資料紹介「巨大キノコ オオミヤマトンビマイ」を展示します

鳥取県立博物館では、このたび展示替えを行い、下記のとおり展示します。取材をよろしくお願いたします。

記

1 展示趣旨

オオミヤマトンビマイは大型で希少なキノコです。鳥取県内での記録はまだわずかしかありません。

2021年6月、県内3例目となるこの巨大キノコが、鳥取市河原町で発見されました。後世に残すべき貴重なキノコであることから、標本にして保存することになりました。

キノコは通常、乾燥させて標本にしますが、このキノコは乾燥させると大変もろくなり、キノコ自身の重さで壊れるほどでした。そこで、専門業者をお願いして、キノコの組織に樹脂を浸透させるプラスチックネーションという技術で加工することにしました。全体的に少し縮んだり、自身の重みで傘が下をむいてしまったりと、完全な形で保存できなかった部分もありますが、レプリカなどではなく実物の標本にすることができました。採集時の写真も併せてご覧いただき、生きている時の様子をイメージしていただくとありがたいです。

2 展示期間

令和5年6月27日（火）午後
から9月10日（日）まで。

3 展示場所

自然常設展示室
小コーナー（常設展の入館料が必要）

4 展示構成

（1）新着資料

オオミヤマトンビマイ
（プラスチックネーション標本）

（2）参考展示ベニタケ目のなかま

- ・ベニタケ科 コベニタケ（レプリカ）
- ・マツカサタケ科 フサヒメホキタケ（アクリル封入標本）
など

